



緊急事態舞台芸術ネットワーク
Japan Performing Arts Solidarity Network

舞台芸術界における緊急アンケート調査結果報告

(2020 年秋)

2020 年 12 月 14 日
緊急事態舞台芸術ネットワーク

<http://jpasn.net>

1. はじめに

緊急事態舞台芸術ネットワークでは、依然として新型コロナウイルスによる舞台芸術界の危機的状況が続いていることを受けて、発足から6ヶ月を経過したタイミングでアンケートを実施しました。アンケート実施の概要は以下の通りです。

- ▶ アンケート実施期間：2020年11月19日～30日
- ▶ 調査対象期間：2020年2月26日～12月31日
- ▶ 対象団体：196団体
- ▶ 有効回答数：52団体（主催団体41 | スタッフ会社10 | 劇場1）

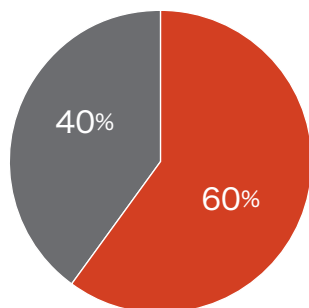
※主催事業のある劇場は主催者に含む

2. 集計結果の概要

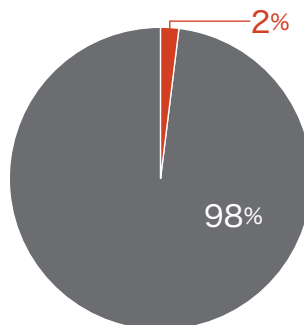
- ▶ 中止・延期された事業数：1,452事業
- ▶ 中止ステージ数：6,985ステージ
- ▶ 中止・延期された事業の総入場者数：4,980,853人
- ▶ 純損失額：約261億円
- ▶ 前年度対比売上減少見込み：約53%減少

支援制度の中でこれまでに利用した、もしくは今後の利用を検討している

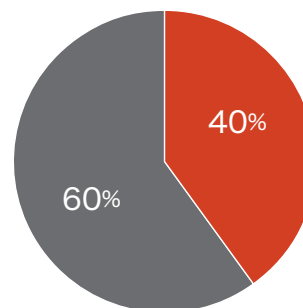
持続化給付金



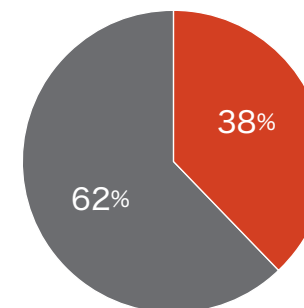
寄付金控除の特例



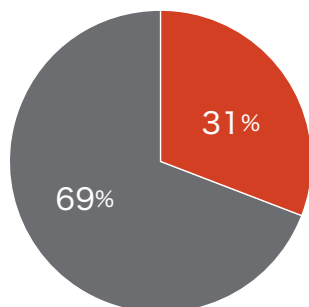
雇用調整助成金



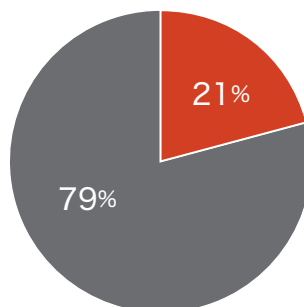
J-LODlive 補助金



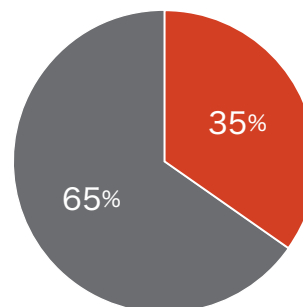
文化芸術活動による継続支援事業



文化芸術収益力強化事業



GOTO イベント



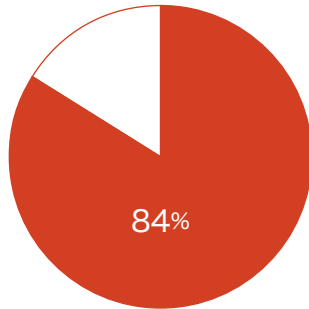
■ 利用した・検討している
■ 利用していない

※その他活用した支援策

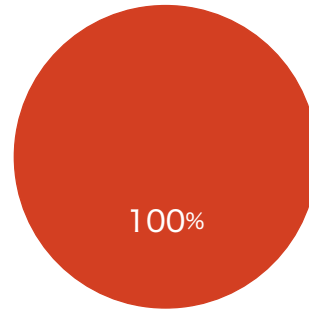
- ・アートにエールを！東京プロジェクト
- ・稲盛財団文化芸術支援プログラム
- ・自治体の助成金、自治体主催の寄付金等
- ・家賃支援給付金

今後も継続してほしいと思う支援制度は？

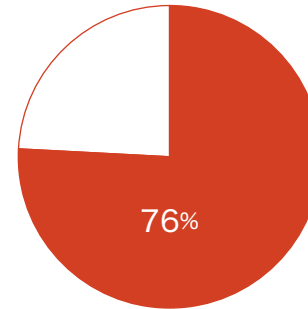
持続化給付金



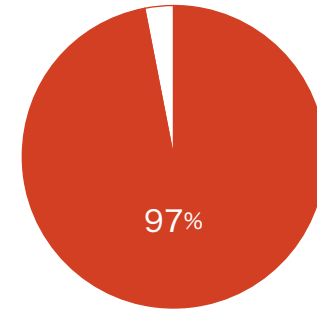
寄付金控除の特例



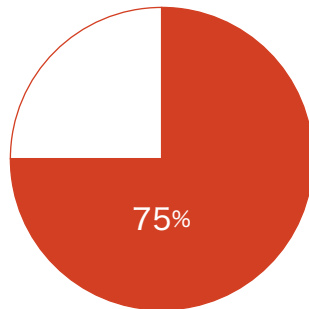
雇用調整助成金



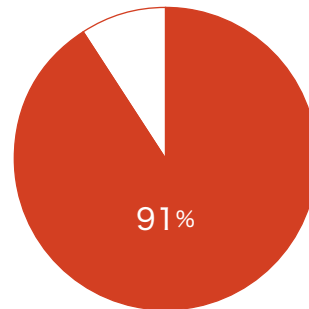
J-LODlive 補助金



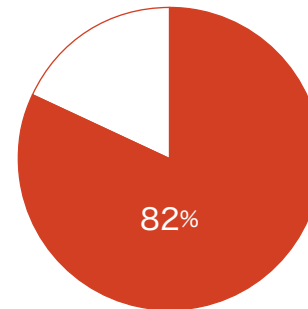
文化芸術活動による継続支援事業



文化芸術収益力強化事業



GOTO イベント

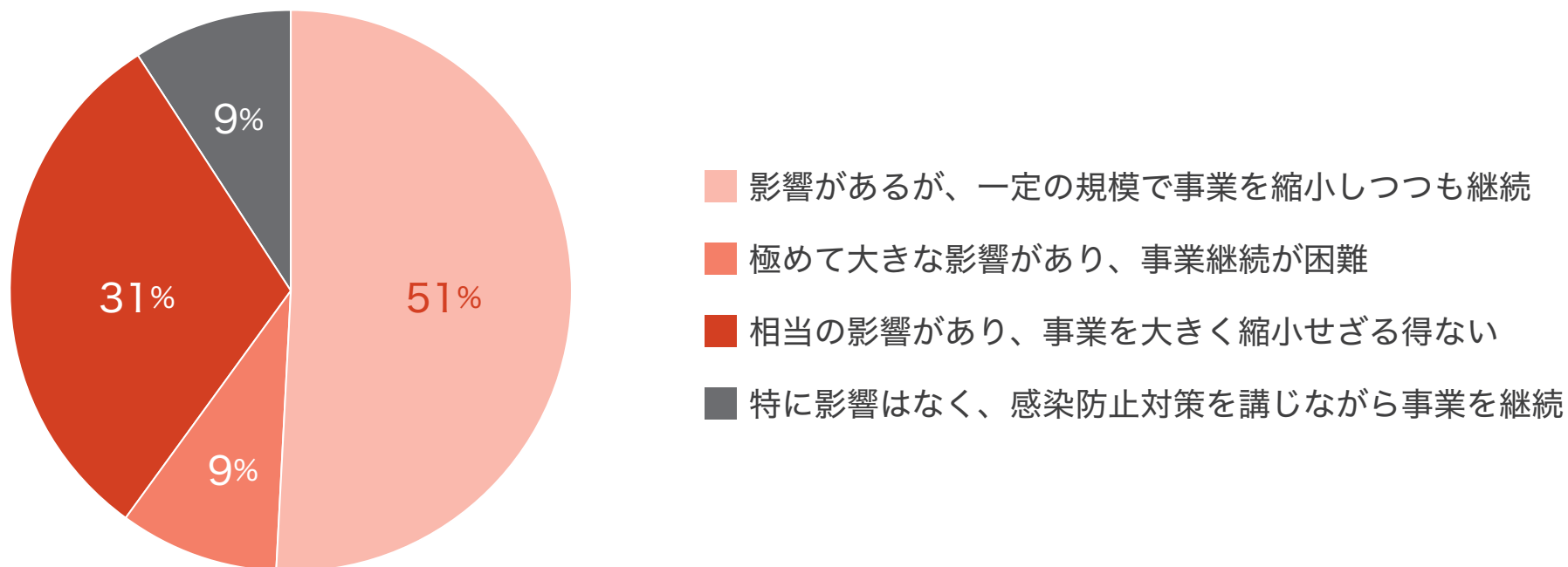


■ 継続を希望する

現在の支援制度以外に今後どのような支援、制度、取組などが必要か

- 「家賃や団体内人件費が助成対象にする、新たな仕組みを検討していけないものか」
- 「PCR 検査費用の負担が大きく、何らかの形で支援いただけると助かると思います」
- 「芸術団体、劇場にまとまった額の支援をし、アーティストや芸術団体、技術会社にお金がわたっている。そういう、補助金の在り方を研究してほしい」
- 「既存制度と新規制度が併存する状況に合わせた整理を進めていただければ助かります」
- 「コロナ禍で減少した観客数がすぐに元通りになるとは思えない。継続的な助成システムをお願いしたい」
- 「チケット業務や宣伝活動、稽古場スタジオ運営を担う中間団体への支援をぜひ求めます」
- 「コロナ禍での入場者数制限およびコロナ拡大による公演中止に伴う製作費補助をお願いしたいです」
- 「公演をどのくらいのキャパで開催できるのかも公演 2 か月前なのにまだわからないという非常に不安定な状況が現実であり、ストレスが続いている」

J-LODlive(経産省)や継続支援事業(文化庁)が、2021年春頃に終了となった場合、今後の事業方針で当てはまるものを選んでください。



全体の91%が影響を受けると回答
そのような状況の中でも半数以上が活動継続の意思

現在の支援制度への改善案や要望すること

「J-LODlive の、3000 人未満クーポンを 3000 人以上の公演に利用できるよう改善願います」

「文化庁の支援策を、中大主催団体にも適用可能な策としていただきたい」

「GOTO イベントを演劇界も利用可能なスキームとしていただきたい」

「諸手続きのスピード化。不備は後から訂正が可能であるし、不正は後から厳しく対応すればよい」

「コロナ対策費に宿泊費（同居人からの感染リスク回避のための隔離宿泊）を計上可能に」

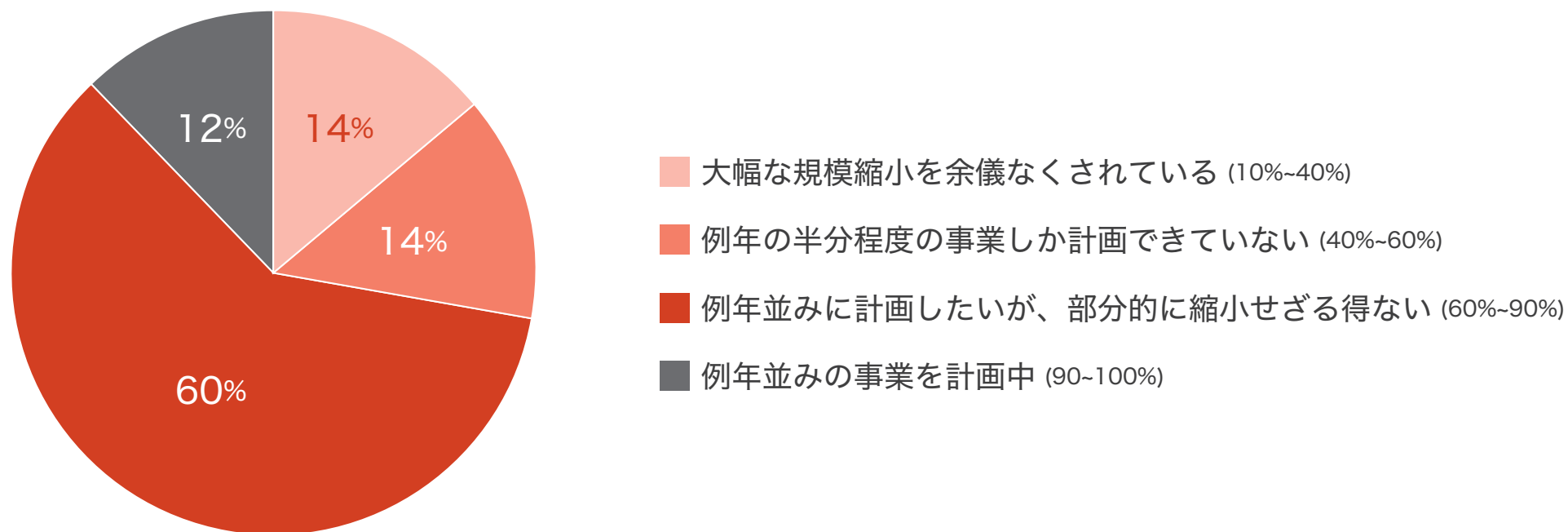
「文化庁支援制度を直接支援だけでなく、地域アーツカウンシル・自治体文化振興部、業界団体を通じた支援に」

「社員の疲弊や外注費の増加など、想像以上に大変な日々です。持続的な支援があれば」

「申請書類や報告書類など、助成金の申請に関しての手続きを簡素化してほしい」

「事業や経費にたいする補助金等のみでなく、給付金等を拡充して欲しい」

2021 年度に予定されている事業方針で、最も当てはまるものを選んでください。
(前年度比での事業割合)



全体の 88% が例年よりも事業縮小を余儀なくされている